

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月9日(金)

事務事業		施設整備事業		担当課	水道工務課	担当係	施設係	管理番号	42211
総合計画	大項目	5 快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1 都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	水道法 深谷市水道事業地域水道ビジョン 深谷市水道事業基本計画				
	小項目	2 水の安定供給と下水処理の適正化							
	主要プロジェクト								
事業概要		水道事業には常に安定的な水道水の供給が求められている。平常時はもとより、災害時における水道施設の機能を維持するため、老朽化の進んだ水道施設や耐震性の低い水道施設を計画的に改修し、日常の維持管理を実施するものである。平成21年度から主要施設の整備を始め、平成28年度から令和7年度（平成37年度）までを後期整備期間とし事業を進めている。							
目的 ※何のために		安全で安心な水道水を安定的に供給するとともに災害に強い水道施設づくりを推進するため。							
対象 ※誰・何を対象に		耐震性の低い浄水場及び配水場の主要設備や水源である井戸設備。							
手段 ※どのように		日常の維持管理や耐用年数を超過した電気・機械設備の更新、耐震性の低い土木構造物の耐震補強・更新を行う。また、水源である井戸の定期的な補修及び改修を行う。							
成果 ※何を求めるか		浄水場・配水場及び関連する施設の機能を強化することで、水道水の安定的な供給を継続させる。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）	
本事業の 主な業務		・ 血沼浄水場の更新				・			
		・ 花園第一・第二配水場の更新				・			
		・ 水源設備の機能維持				・			
		・ 浄配水場の定期的な機器更新・修繕				・			
		・ 浄配水場運転管理業務				・			
		・				・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		血沼浄水場更新工事 花園配水場更新工事	血沼浄水場更新工事 花園配水場更新工事				
事業費	予算（現額）	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	0	0		
人件費	従事職員数（人）	4.36	3.40	2.90	2.90		
	人件費相当試算※	33,841,949	26,756,494	23,769,522	23,769,522		
総事業費試算		33,841,949	26,756,494	23,769,522	23,769,522		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
	実績値										
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
実績値の算出式											
活動指標 1	浄水場・配水場施設数	目標値	施設								
		実績値		10.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		現状維持のため目標値を設定しない / 当該年度実績								
	実績値の算出式										
成果指標 1	事業進捗率	目標値	%	95.00							
		実績値		82.10							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		全体事業費の執行 / 執行済事業費／全体事業費								
	実績値の算出式										
成果指標 2	配水池耐震化率	目標値	%	70.00							
		実績値		70.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		耐震化済配水池の割合を目標値 / 耐震化済配水池容量／全配水池容								
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										
		目標値									
		実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所										
	実績値の算出式										

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	各施設の適切な維持及び運転管理を行い、突発的な設備故障や異常事態に対しても適切に対応できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	事業進捗率は事業費ベースでは目標値に達していないが、入札により事業費が削減できているためであり、おおむね計画通りに進捗している。また、配水池耐震化率は目標値を達成しており計画通りに工事進捗が図られている。
			評価者 施設係長 飯塚 佳樹

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	各施設の管理業務については複数年契約での外部委託とすることで民間事業者の豊富な経験や専門知識、創意工夫を有効利用し、事務及びコスト面で効率化が図られている。
			評価者 施設係長 飯塚 佳樹

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	更新工事については完成後の円滑な稼働に向け、工事業者及び運転管理業務受託者と綿密な調整及び運用の検討を十分行う。また、工事関連業者に対し事故の再発防止を改めて指導する。
達成状況及び その効果	血沼浄水場更新工事は工事業者、監理者及び運転管理業務受託者との定例会や個別調整により順調に進捗し無事故で完成した。また、供用開始後新施設は問題なく稼働している。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	施設整備事業	担当課	水道工務課	担当係	施設係	管理番号	42211
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直しして継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>血沼浄水場については残工事を確実に進捗させるとともに、適切な運転管理を行っていく。花園系は不具合を解消し、運転管理業務受託者と花園地区の水運用について検討し水需要に見合った効率的な運用を目指す。 また、施設の維持及び運転管理については、日常の点検・調査及び修繕等による適切な管理を継続し、水道水の安定供給に努める。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	水道工務課長 神田 稔				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	更新工事については引き続き工事業者及び運転管理業務受託者と綿密な調整を行い、安全で計画的な工事進捗に努め、花園系については場内配管を更新し安定給水が図れる効率的な運用方法を検討する。また、運転管理業務受託者と連携を図り、適切な運転管理に努め、安全で安心な水道水の安定供給を行う。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	次期整備計画を踏まえ効率的な施設の維持管理、更新工事を行う。

8. 評価指標グラフ

区分	成果指標 1	指標名	事業進捗率
<div><div><div>100</div><div>90</div><div>80</div><div>70</div></div><div><div>令和4年度</div><div>令和5年度</div><div>令和6年度</div><div>令和7年度</div><div>令和8年度</div><div>令和9年度</div></div><div><div>目標値</div><div>実績値</div></div></div>			
区分	成果指標 2	指標名	配水池耐震化率
<div><div><div>80</div><div>60</div><div>40</div><div>20</div><div>0</div></div><div><div>令和4年度</div><div>令和5年度</div><div>令和6年度</div><div>令和7年度</div><div>令和8年度</div><div>令和9年度</div></div><div><div>目標値</div><div>実績値</div></div></div>			